

研究テーマ：ホームビデオライブラリ・自動登録システムの実験（1/2） （プロジェクト番号 JGN-G11003）

研究機関： 広島大学総合情報処理センター、（株）ワコムアイティ
三洋コンピュータ（株）、山陰ケーブルビジョン（株）

研究の概要：

高速ネットワーク環境での実証実験を重ねながら、CATVインターネットサービスでの最適なデータサイズ等の検討を行い、合わせて映像ライブラリの登録作業を自動化するシステムの構築を行う。

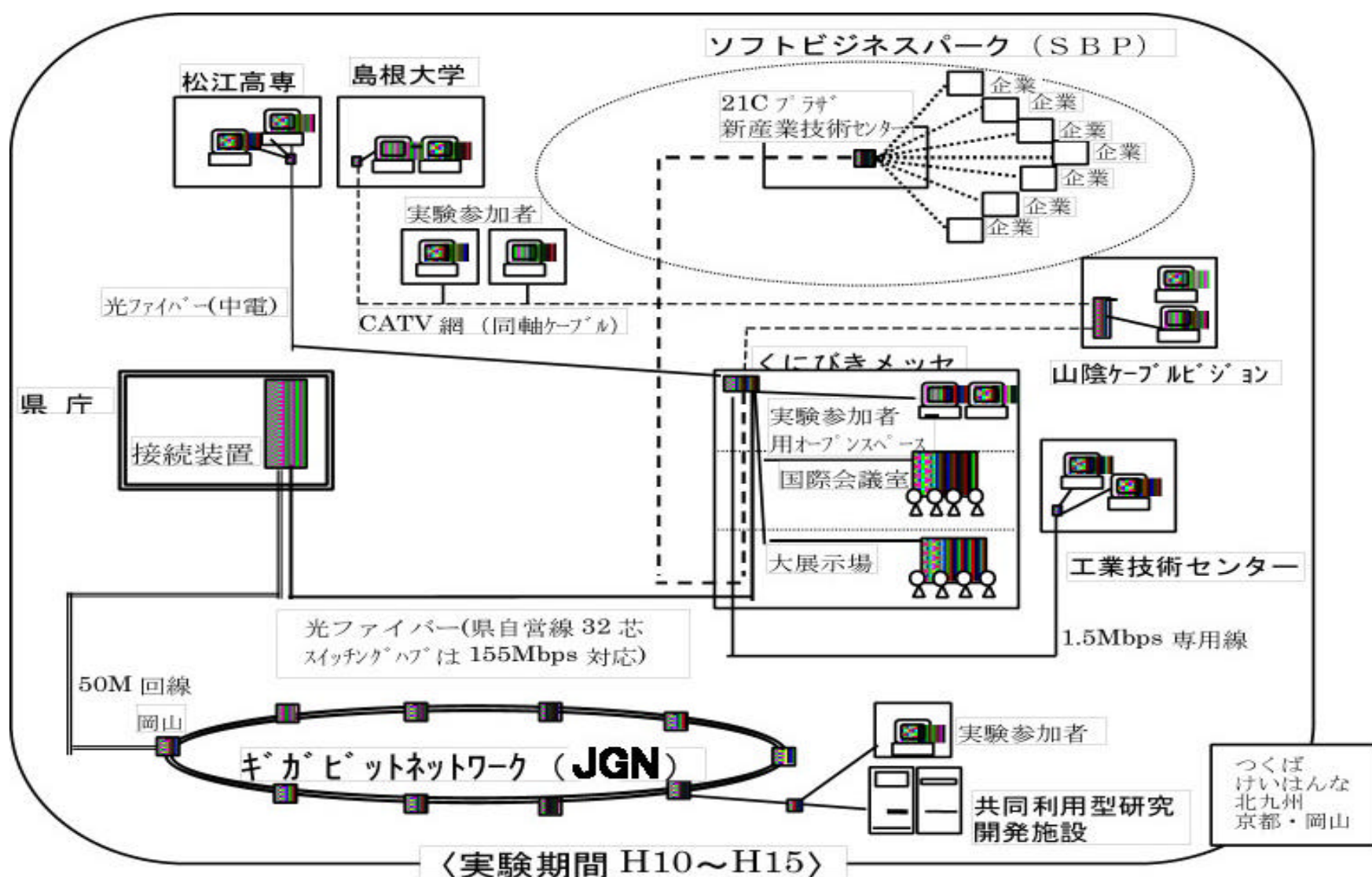
クライアントから通常のビデオ信号として送信されるデータをサーバー側で自動的にMPEGデータに変換しジャンルごとに自動的にライブラリに登録するシステムの実証を行う。

研究の目的：

高速ネットワークの家庭への接続が目前に迫っている。

全国の事業者CATVがインターネット接続サービスを開始してきており、民間のユーザー間でも関心が高まってきている。

しかし、その高速ネットワークのメリットを生かした利用は少ないのが現実であり、それは映像コンテンツの不足に起因するものが多い。今回の研究目的としては民間からの容易な映像ライブラリの登録システムを開発によって高速ネットワークの利用を活発化させる事にある。



研究テーマ：ホームビデオライブラリ・自動登録システムの実験（2/2） （プロジェクト番号 JGN-G11003）

研究機関： 広島大学総合情報処理センター、（株）ワコムアイティ
三洋コンピュータ（株）、山陰ケーブルビジョン（株）

研究開発状況：

平成11年5月28日に、くにびきメッセ（松江市）において、GIGABITセミナーを開催し、広島大学総合情報処理センターとの間でGIGABIT研究内容に関するテレビ会議を行い、多くの市民にGIGABITネットワークの啓蒙を行った。



東京大学 須藤修教授



広島大学 サテライト会場

当実験に際して広島大学総合情報処理センターとATMにて接続し、ネットワークシステム研究開発室長である相原玲二助教授にアドバイザーとして参加いただき、適宜指導を受けることとなった。

平成12年3月にはホームビデオライブラリ自動登録システムの実験プログラムの作成を完了した。

今後の予定：

実証実験として岡山情報ハイウェイとも接続された岡山～松江のCATV事業者間での実験を行う予定であったが、松江のCATV事業者のインターネット事業開始が遅れたため、実際にはGIGABITネットワークを利用したMPEG画像伝送の実験を行えないまま、今回の実験を終了したのでCATV事業者との接続が可能になった時点で再度実験を行い、その有用性を確認したい。

将来の展望：

今回開発したビデオライブラリー自動登録システムの実験プログラムは松江市内の学校インターネット事業に参加している小学校で、実験的に利用されている。今後もっとも利用が期待される教育分野での活用に向けて開発を進めたい。